

小規模多機能型居宅介護「令和6年度サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人星隆会	代表者	田中朝美	法人・事業所の特徴	法人としては家庭的な雰囲気を中心に、園児、高齢者、家族、その「ひとりひとりに寄り添う」ことを大事にしている。建物に木を多用したやわらかい雰囲気の中で、小規模で家庭的な暖かさを大事にしながら、通い、訪問、泊まりの3つのサービスを柔軟に組み合わせて、ご利用者が安心して地域の中で生活を継続できるよう支援にあたっている。また認知症を持つ人への非薬物的療法的な効果を期待して音楽、ニュースポーツ、ゲーム、クラフト、回想などアクティビティの充実に努めている。
事業所名	小規模多機能ホーム きいちご倶楽部	管理者	木佐一歳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所スタッフ	その他	合計
	1人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・少人数でも、事業所自己評価での改善計画に沿っているかを話し合い、不参加の職員にも後日でも意見を求め、後で集約し全職員が同じ方向性を意識し統一されたサービス提供を目指す。	・職員会議後に評価を実施することでほぼすべての職員から意見を集約することが出来た。	・地域との関わりについては評価の設定が難しい。 ・同じようなインシデントが起きているのは大きな事故に繋がりがねないため問題なのではないか。 ・外部研修に職員全員が参加するのは難しいのではないか	・委員会活動を通して同じようなインシデントに対する対策を検討し、マニュアルの改訂や決定した対策の徹底を図る。 ・常勤職員全員が外部研修を受講し、ケアの質の向上を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	・運営推進会議の方々に意見を頂いたり、職員間で見栄え良くなる方法を提案する等を行い、改善を行って行く。	・職員間で花を飾るなどの改善を行い、環境改善に努めることができた。	・環境については良好だと思う。 ・居心地のいい空間になっているのではないか。	・現状に満足することなく環境改善を継続していく。 ・ホームページ等を活用し、情報を発信していく。
C. 事業所と地域のかかわり	・外出レクに散歩等を取り入れ、なるべく地域の方々との交流が図れるようにする。 ・地域の方々との食事会を催してみる。 地域代表の方と相談し企画する。	・外出レクに近くの公園まで花を見に出掛けるなど行うことが出来た。 ・地域の方々との食事会については企画できなかった。	・地域の方にあまり知られていないとの事だが、社用車に施設名は入っているか。 ・社用車に施設名を入れるのも一長一短で、利用者によっては嫌がられる方もおられるので難しいところだと思う。	・自治会や地域などのイベントに少人数からでも積極的に参加し、認知度を高めていく。
D. 地域に出向いて利用者の暮らしを支える取組み	・地域に出向いても催し物等が消失したり、地域で行っていた消防訓練も無くなってしまっている。 ・ないなら、小多機で地域住民を巻き込んだ企画を考える。(運動会やゲーム大会、軽飲食の提供等々)	・地域の催し物には高齢者福祉大会、隣保館祭りなどに作品を出品したり参加したりすることができた。 ・地域住民を巻き込んでの催し物を企画することは出来なかった。	・外出もよくされており、外に出ようとする意識が見られる。 ・民生委員が分からないのが現状。 ・施設の性質上、民生委員との繋がりは大事だと思う。	・今後も継続して外出を計画し、ご利用者の方と地域に出向く機会を増やしていく。 ・民生委員との繋がりを持ち、地域との関係を強めていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出た意見は事業所内で、まず実施可能かを議論し、出来るようなら積極的に取り入れ改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出たご意見は、職員にも周知し、改善に繋がるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出た意見を活かそうとする姿勢は見られる。 ・施設内で検討した内容を運営推進会議で報告してもいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議でいただいたご意見を施設内で検討し、その内容・結果を運営推進会議で報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域代表者に声掛けし、避難訓練の際には来所頂き様子を見て頂く。客観的な目線で意見を頂き改善に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は年 2 回実施しているものの、外部の方を呼ぶことは出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練は無くなってしまっており、地域との連携は難しいのではないかと。 ・運営推進会議に合わせて避難訓練を実施してみてはどうか。年に一回でも参加することができれば、どのような訓練をされているのかがわかり良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に合わせて避難訓練を実施し、推進会議のメンバーの方にも参加して頂く。その後の運営推進会議で意見を頂戴し、より良い避難行動に繋がるよう改善する。